

岩本広輝先生

「確かな児童・生徒理解のために」～人権・同和教育の視点を通して～

○二学期がスタートして直ぐの校内研修。学期はじめでなければいけない仕事がある中、先生方の貴重な時間をいただきました。その分、岩本先生を招いての研修は大変意義深いものになったと感じています。「目から鱗」「自分のことだ」など、岩本先生の経験や話の内容が自分と重なり考えさせられた先生もいたのではないのでしょうか。子ども観、教師観の転換に関わる内容や教師の得意な「いいわけ、思い込み、自己満足」教師が苦手な「怒られること、受け入れること」等は私自身、反省することや気づかされるのが、たくさんありました。日常の生活で生徒と対峙していく時、自分なりのキーワードを持ち、検証をしていく大切さを教えていただきました。また、先輩教師から学んだ事では、私はどうだろうと考えました。若い先生方が増えてきた学校現場で、自分の経験をどれだけ伝えることができているのか、退職をする年にあらためて考えさせられた気がします。まだ自分にできること、頑張ってみたいと思います。私たち教師の人権感覚を振り返り、さらに磨いていくための貴重な時間になったと思います。



先生方の感想から（一部抜粋）

- 私も今後、たくさんの家庭訪問に行く機会があるかと思います。行く場合は良い家庭訪問になるように生徒の背景、家庭状況等を深く考えながら、日頃の生徒の姿を見つめて行きたいと思いました。
- 学力に対する努力（学習時間）の効果は限定的、不利な家庭環境の影響を努力だけで克服できない。だから質問教室が始まった。つい目の前の現実だけが気になって生活や生育の歴史まで思いをはせることができないなあと感じました。一人一人の存在と向き合っていきたいとあらためて思いました。
- 自分の言動や生徒との接し方、問題が起こった時の対応等振り返り「はっ」とさせられました。特に「みんな」という言葉の恐ろしさです。日頃、私が使っていた「みんな」という言葉に不登校や相談室の子が含まれているのか。深く考えさせられました。
- 自分のためではなく、生徒のために様々なことに取り組んでいきたいです。家庭訪問の機会も増えてきたので謝罪のすいませんではなく感謝のすいませんが聞けるように日々誠実に保護者の方と向き合っていきたいです。

9月8日 県学力調査に向けて（昨年度の結果）

	中学1年生	中学2年生
国語 浮羽中正答率	66	52.5
県平均 正答率	63.2	52.2
数学 浮羽中正答率	66.9	62.3
県平均 正答率	63.9	57.1

□2年生は朝活動の時間にフォローアップワークシートを活用しています。1年生は過去の問題を準備し、やってもらいます。2週間程ですが、学習をして臨ませましょう。